

## 印西市情報化推進会議 会議録

1. 会議名 令和3年度第2回印西市情報化推進会議
2. 開催日時 令和4年2月4日（金） 午前10時～午前11時
3. 開催場所 印西市役所 会議棟 204会議室  
（各委員とはオンライン形式で会議）

### 4. 出席者

委員	小濱委員、森委員、竹谷委員、北條委員、片岡委員、九鬼委員、 中里委員、嶋田委員
事務局	伊藤課長、立原係長、石黒主査補

### 5. 傍聴者 1名

### 6. 会議次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 議 題 （1）印西市DX推進方針（案）について
4. そ の 他
5. 閉 会

### 7. 配布資料

・会議次第 ・議題（1） 印西市DX推進方針（案）【資料1】
-----------------------------------

8. 議事等

3. (1) 印西市DX推進方針(案)について

発言者	議事内容
委員長	議題1の印西市DX推進方針(案)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局による資料1の概要説明)
委員長	説明が終わりました。質問、意見等がありますか。
委員	これまでの計画期間は5年だったが、4年に短縮した理由がありますか。
事務局	市の総合計画(第1次基本計画)の計画期間が令和3年度から7年度なので、これとあわせたためです。
委員	<p>①新たな取り組みであるDXに関して、利用者である市民への意識変革についてどのように考えていますか。</p> <p>②千葉県(県庁)の役割についてどのように考えていますか。</p> <p>③セキュリティの担保についてどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>①インターネットに慣れ親しんでいる世代の方に対しては、ネットを通じて情報を行き渡らせる事が可能と考えています。新たな変化に対応することが難しいと感じる世代の方に対しては、従来のサービスを継続しつつ、新しいサービスを使っただけの方を少しずつ増やしていくのが今回の方針と考えております。</p> <p>②千葉県は県内の市町村を包括的に管理しています。来年度、千葉県でもDX方針を作成する予定とのこと。今後、県が主体となって市町村と一緒に進む取り組みが進んでいくものと考えております。</p> <p>③市では強固なセキュリティ対策を実施しています。今後も、時代にあわせた対策を行い、皆様の個人情報等を守っていきます。</p>
委員	効率的に事務を進めるには、市民の方が市の用意したシステムを利用する必要があり、DXの取り組みとあわせてデジタルデバイド対策が必要になります。(14ページ)「市民向け講座の開催」と、デジタルデバイド対策に関する記載があるが、国に倣って「デジタルデバイド対策」という言葉を強調した方がよいと思います。
事務局	検討いたします。
委員	<p>①アナログな手段でのアンケートは行いますか。</p> <p>②(10ページ)「1-(2)マイナンバーの利活用」について、コロナの接種証明について記載した方がよいと思います。</p> <p>③60代以上の方へのデジタルデバイド対策について。</p>
事務局	①市では、2年に1度、市内の3,000人を無作為抽出し、市民満足度調査を行っています。今後の調査について、DXに関す

	<p>る項目を追加してもらうように担当課と調整しています。</p> <p>②検討いたします。</p> <p>③国の施策も考慮しつつ、項目については検討いたします。</p>
委員	<p>包括支援センターで生活支援コーディネーターが高齢者に対してスマホ教室を行っているが、先生がいないということを確認しておいてください。</p>
委員	<p>市民の利便性向上、行政内部の改革は自治体がDXを進めると、これらに行きつくの間違いのない印象である。資料の6ページでは国・県ともに市民に対する意識づけのメッセージとして、DXに関する宣言を行っている。印西市もDXによってどのように変革していくのかのメッセージ性が市民に対する意識付けにつながると考える。この方針にもメッセージ性があつたほう理解されやすいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>プロジェクトチームにて若手職員と検討いたします。本方針は、随時修正できるものとして作成しております。</p>
委員	<p>①（7ページ）3原則の順番は市民目線が一番目でそれにデジタルファーストと続くのが好ましいのではないのでしょうか。</p> <p>②今後、各施策を具体的に実現していくことが1番の課題となると思われます。</p>
事務局	<p>①デジタルファーストの視点が現在の市役所に足りていないと考えており、市の職員への意識付けを強める意味も込めてこの順番にいたしました。</p> <p>②今後、赤字で例示した施策をどのように進めていくか担当部署と詰めてまいります。既にDXという言葉を引きっかけになって、庁内で検討が始まったものも出てきております。</p>
委員	<p>資料の表現ではあるが、印西市が、ICTの取り組みで魅力があることは市民にもわかりやすく、今後のアクションに繋げてもらいたい部分であることから、（14ページ）ビジョンの関連事項「ICT教育環境の拡充」「IT企業の誘致・就労支援の充実」は、「3市の魅力向上」の視点の中に入れてよいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>「ICT教育環境の拡充」については、別計画である「印西市教育振興基本計画」において、各学校等におけるDX推進施策が記載されているので、関連事項としました。</p> <p>「IT企業の誘致・就労支援の充実」については、市内の各データセンターについて、せっかくできたブランドは活用していきたいという思いがあり、関連事項としました。</p>
委員	<p>データセンターは、セキュリティの観点から企業が公表せずに設置することが多いため、市として積極的に誘致しづらいと思われる</p>

	ます。
事務局	補足としまして、特定の事業者を市が支援することは難しいですが、データセンターを持つ大きな事業者様に限らず、小さな事業者様も含め、自由な発想で「INZAI」という名前が広がればよいなという思いもございます。

#### 4. その他

発言者	議事内容
委員長	その他ですが、何かありますか。
委員	(なし)
事務局	本会議「印西市情報化推進会議」は、「印西市DX推進会議」に名称を変更したいと思います。規定等の改正は今後行ってまいります。次回会議は、今年の夏の終わり頃を予定しております。よろしくお願いいたします。

委 員 長 小濱 隆司

委 員 片岡 保典